

看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組事項

No.	項 目	取 組 事 項	2 0 2 5 年度の計画
1	業 務 量 の 調 整	時間外労働の削減、 業 務 量 の 調 整	入院時支援の担当者（看護師）による入院前情報収集
			看護補助者による清潔ケアなどの実施の拡大
			看護補助者の育成による効果的な活用
2	看護職員と他職種との 業 務 分 担	薬 剤 師	薬剤師と他職種との共同で持参薬の効率的な運用の見直し
		臨 床 検 査 技 師	救急、病棟における検体の回収
		放 射 線 技 師	CT/MRI検査における助言や介助
		臨 床 工 学 技 士	人口呼吸器等の機器について集中管理し病棟の機器の安全性を確保し病棟看護職員の負担軽減を図る
		リ ハ ビ リ 職 種	看護必要度等の補助として患者評価の情報提供
		管 理 栄 養 士	食物アレルギーや嗜好等の食事に関する聞き取り補助
		社 会 福 祉 士	退院調整に係る患者家族等との連絡調整の補助
		事 務 職 員	医師事務作業補助者の標準化の推進
3	看護補助者の配置	看護補助者の 夜 間 配 置	夜間 1 0 0 対 1 急性期看護補助体制の維持
		病棟事務員の配置	主として事務的業務を行う看護補助（業務）者の見直し
4	多様な勤務形態の 導 入	多様な勤務形態の 導 入	適宜、多様な働き方に対応
5	妊娠・子育て中、介護中 の看護職員に対する配 慮	半 日 ・ 時 間 単 位 休 暇 制 度	現在の制度を継続
		夜 勤 の 減 免 制 度	現在の制度を継続
		所定労働時間の短縮	現在の制度の対象を拡大 就業規則の改定（3歳未満→小学校就学前）
		他部署への配置転換	現在の制度を継続
		子の看護休暇の見直し	現在の制度の対象を拡大 就業規則の改定（小学校就学前→小学校3年生終了迄）
		—	—
		—	—
		—	—
6	夜 勤 負 担 の 軽 減	夜 勤 従 事 者 の 増 員	採用及び在職者からの夜勤専従希望者の募集の継続
		月 の 夜 勤 回 数 の 上 限 設 定	夜勤回数 月4回/4週